

第134回 東京医科大学病院 市民公開講座

〈第1部〉 加齢と血管：血管の老化に向き合う

〈第2部〉 食事で防ぐ動脈硬化 ～嗜好品のエビデンス～

心臓から送り出される血液は、動脈や毛細血管、静脈などの血管を通じて体内に必要な酸素や栄養を届け、いらなくなった老廃物を運び出します。

動脈硬化というのは、動脈の血管壁が老化して硬くなるだけでなく、血管の内側に脂肪がこびりついて血液が詰まりやすくなる状態です。心筋梗塞や脳梗塞、大動脈瘤なども、動脈硬化が引き起こす病気です。

厚生労働省のデータでは、心疾患はがん（悪性新生物）に次いで死亡原因の第2位で、日本人の4人に1人が心筋梗塞や脳卒中で亡くなっているとされており、予防が非常に重要となります。

今回その血管に関する講演として、第1部を循環器内科 教授 富山博史 医師が、第2部（17:45分頃～）を循環器内科 講師 椎名一紀 医師が解説します。

■日 時：平成31年2月19日（火）

開場 16:30

開演 17:00～（第1部）

17:45頃～（第2部）

閉演 18:30（予定）

■会 場：東京医科大学病院

本館6階 臨床講堂

（最寄駅：丸ノ内線 西新宿駅）



■申し込み：事前の申し込みは不要。当日は会場に直接お越しください。

■お問合せ：東京医科大学病院 総務課 ☎ 03-3342-6111(代)

※尚、座席数に限りがございます（320席）。満席の場合は入場をお断りする場合がございます。

※マスコミ等のカメラ撮影が入る場合がございます。予めご了承ください。

共催：東京医科大学

東京医科大学病院 生涯教育センター

東京医科大学病院 総合相談・支援センター

公益財団法人 東京医科大学がん研究事業団

東京医専

 東京医科大学病院
TOKYO MEDICAL UNIVERSITY HOSPITAL